

特任助教（常勤）の公募について

大阪大学核物理研究センター長

中野貴志

大阪大学核物理研究センターでは、特任助教（常勤）1名を、下記の要項により公募します。

記

1. 募集人員 : 特任助教（常勤）1名
2. 所属 : 核物理研究センター・核物理実験研究部門
3. 勤務場所 : 吹田キャンパスまたは大阪大学J-PARC分室
4. 任期 :
採用日から2027年 3月31日まで。但し、財政状況等およびレビューにより更新する可能性あり。
5. 任 務 :
核物理研究センターが進めているハドロン物理のプロジェクトに参加し、高運動量パイオンビームで拓くチャームバリオン高励起状態の研究(科研費、基盤研究(S))および関連するハドロン分光実験研究を推進する。プロジェクト運営だけでなく、核物理研究センターの運営に参加する。学生の教育をすることも可能。
6. 着任時期 : 2023年4月1日以降のできるだけ早い時期
7. 応募資格 :
原子核・素粒子物理及び関連分野の実験研究者で、採用される時点で博士の学位を有する者、又は博士の学位取得が確実な者。
これまでの研究テーマは問わない。ただし、業務遂行に支障のないレベルの日本語または英語能力があること。
8. 待 遇 :
「48. 国立大学法人大阪大学任期付年俸制教職員（特任等教職員）給与規程」による。
https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/information/joho/kitei_shugyou.html
9. 勤務形態 :
「38. 国立大学法人大阪大学任期付教職員の労働時間、休日及び休暇等に関する規程」による。
https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/information/joho/kitei_shugyou.html
* 専門業務型裁量労働制適用、みなし労働時間 1 日 8 時間
10. 保 険 : 国家公務員共済組合、雇用保険、労働者災害補償保険に加入。

1 1. 選考方法：

原則として書類選考とし、必要に応じて面接を実施する。面接のための旅費及び宿泊費等は応募者の負担とする。海外在住の場合は、オンラインでの面接も可能。

1 2. 必要書類：

- (1) 履歴書（着任可能時期を明記すること）
- (2) 研究歴
- (3) 発表論文等の業績リスト
- (4) 主な論文別刷（3編以内）
- (5) 着任後の研究計画（A4 2ページ以内）
- (6) 本人についての意見を求め得る方2名の氏名及び連絡先

1 3. 公募締切：2023年 1月15日 必着

1 4. 送付方法：

応募書類は当方指定の方法により、PDF ファイルとして送付してください。送付方法は応募者に対し個別に指示します。応募者は応募期限の1週間前までに下記の送付先 email アドレスへ送付方法を問い合わせてください。

<送付先>

大阪大学核物理研究センター センター長 中野 貴志 email:director@rcnp.osaka-u.ac.jp

※件名を「核物理研究センター特任助教公募 Z-863」としてください。

※メール送信後3日が経過しても送付方法の指示がない場合には、必ず上記宛へご連絡ください。

1 5. 問合せ先：ハドロン分光研究の活動内容に関するお問い合わせは

email：apply-jinji2022-assistant@rcnp.osaka-u.ac.jp

大阪大学核物理研究センター 野海 博之

にご連絡ください。

1 6. ホームページ等：

核物理研究センター：<http://www.rcnp.osaka-u.ac.jp>

チャームバリオン分光：<http://www.rcnp.osaka-u.ac.jp/~noumi/E50/index.html>

基盤研究(S)課題公表用資料：https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/12_kiban/ichiran_r04/j-data/r_4_jp_22h04940.pdf

1 7. その他：

以上の労働条件等については本採用情報掲載時点のものであり、変更等の可能性があります。

上記の他の労働条件については国立大学法人大阪大学任期付教職員就業規則等によります。

https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/information/joho/kitei_shugyou.html

大阪大学は、男女共同参画を推進し、女性教職員のための様々な支援を実施しています。

<http://www.danjo.osaka-u.ac.jp/>

敷地内原則禁煙

18. 募集者：国立大学法人大阪大学